

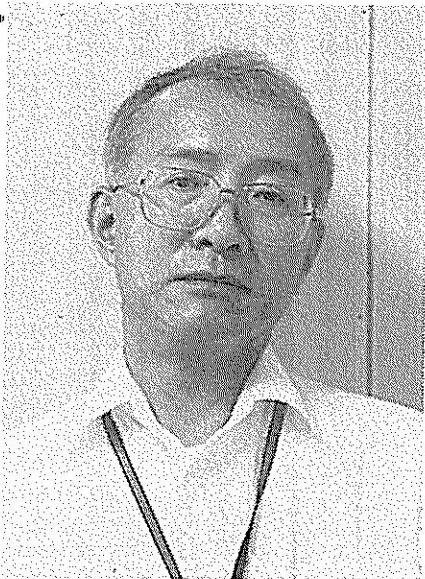
コラボ  
通じて  
**目標達成に貢献**

尾家産業  
サンホーム会 喜岡会長が強調

尾家産業の仕入先メー  
カーで組織するサンボーム  
会は7日、大阪市内のホテ  
ルで第25回定期総会を開催

し、会員、屋家産業幹部など  
400人が出席した。年、屋家社長は「いい会社を  
つくる」と中期目標として売上高5%増収、営業利  
益率1%の安定成長を目指す。  
喜岡浩一会長(カゴメ会  
長)は開催あいさいで、「昨

額は3.6%減の529億  
5800万円、うちサン  
ホーム会員(1280社)の仕  
入額は2.1%減の3320



植村光一郎氏

エアの認証制度創設に向けた検討を始めた。ストレスを与えないなど32のチェック項目を作り、それに基づき生産された豚肉であることを認証するもの。これを認証するヘルやホームページなどを通じて消費者に伝えていく仕組みだ。

## 動物福祉の認証制度創設へ

Xば経済効率のみを追求した従来の畜産を目標とする。直じて安全性(Safety)▷動物福祉(Animal Welfare)▷品質(Quality)——Q4つの環創東振SABAOQの考え方を基づいて育むことである。

「このお肉を貰ってもうひととじで幸せな豚が増えるといふメッセージを伝えたといい。Xを購入することだけで自分(消費者)たちの行動が日本の畜産を変えることにつながる社会貢献活動でもある。農家の誇りを持たせ、消費者が商品を手に取たり、その素晴らしさに感動する。その一役になれれば」という植村氏。夢は大きく広がっていく。(宇梶)

## 生産農家のこだわり・思いを伝える

は、08年12月に地球温暖化防止対策として、清涼飲料自販機の消費電力削減のための「自主行動計画」を策定し、現在目標達成に向け削減活動に取り組んでいる。このほど、09年の進捗状況が同協議会から発表され、05年比で総消費電力量が27・5%削減されたことが明らかになった。清涼飲料自販機は、91年から05年の15年間で自販機の総消費電力量を約20%削減。09年の清涼飲料自販機の総消費電力量は05年基準年と比較

# 總消費電力量 27.5%削減達成

# 自販機の照明・24時間消費削減率が24.6%、国内設置総消費電力量27.5%削減を達成

またPABにも力を入れ  
今期はPAB売上高3億円を  
目指し、新商品19品を投入  
する。

8社との取り組みを強化し、新規開拓提案会に力を入れる。提案会は秋季提案会は8月18日の大阪皮切りで、全国15会場(最多)で行なわれる。地域密着型のミニ提案会も全国150件計画している。

自販機による消費電力削減率が20.9%となり、合計27.5%が削減された。これは特に最新省エネ機であるヒートポンプ機の投入が予定以上に多かったことが要因として挙げられる。また、屋内に設置されている自販機の66.8%の照明が24時間消灯されるようになったことも貢献した。同協議会は12年以降、1%削減(05年比)を目指してくるが、さらなるヒートポンプ機の導入で、達成は実現可能としている。

内における交通アクセスが良好で、今後の事業戦略上有利であると判断したもの。また様々な用途を検討するため十分な面積であるとも選定理由の一つ。取得金額は約35億円で、今年12月に取得を完了する予定。

磨かれ  
おいしく  
伝統の

東  
トガシナル

き)。7月16日締め切り。